

あなたのまちの「支え合い・助けあい」づくり

～「地域生活応援員」「子育て支援プロデューサー」養成講座～

高齢化・核家族化が進み、地域のつながりがますます希薄化していく現代において、だれもが安心して住み慣れた地域で豊かな生活を送るためには、公的なサービスではまかなえない細やかな個別支援が必要とされており、地域における住民同士の支え合い活動によるサポートが求められています。

当会では、ふるさと雇用再生特別事業の一環として、県内6カ所のモデル地区において、市町村社会福祉協議会を中心とした住民主体の「支え合い・助け合い」づくりに取り組み、高齢者や子育てを地域において支援するサポーターを養成する講座を開催しています。



地域生活応援員

◎高齢者等要援護者地域生活支援総合事業（モデル地区：霧島市横川町、南九州市知覧町、天城町）

モデル3地区において、高齢者等の地域で手助けを必要とされている方を支援する「地域生活応援員」養成講座を開催し、78名の方が修了されました。

モデル地区では、事業をきっかけに住民同士の支え合いの仕組みづくりを検討、有償ボランティアで支援を行う「助け合いネットワーク」の基盤整備がはじまっています。



講座の様子



疑似体験の実習



地域生活応援員とは
地域住民で構成し、ゴミ出しや買い物、こそくり等、高齢者等の要援護者の生活全般に行き渡る細やかな支援を行うサポーターです。

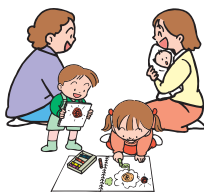
子育て支援プロデューサー

◎安心子育てサポートモデル事業（モデル地区：日置市、曾於市、湧水町）

地域の子育て支援を推進する「子育て支援プロデューサー」を養成する講座は、モデル3地区において前後期の2回講座を開催し、190名の方が修了されました。

また、若い母親世代だけでなく、特に子育て経験や智恵を持つ元気な高齢者の方も地域の子育てに参加していただけるよう、老人クラブ連合会の方々にも協力をいただいています。

日置市においては、講座修了者や老人クラブ連合会員によって子育てサロンが立ち上がりました。



子育て支援プロデューサーとは
子育てサロンの立ち上げや支援ネットワークづくりへの協力等、地域における子育て支援を推進するサポーターです。

新たに誕生したサロン



講座を修了した皆さん